

滝上の人

スポーツを通じた関わりを

今回は、幸町 佐々木正行さんにスポットをあてていきます。

高校卒業後の進路については？

佐々木さんは、昭和24年滝上町（栄町）生まれの70才。生まれ育ちも滝上町で、祖母の代に昭和18年から栄町にて栄旅館を、昭和29年に割烹「清月」を開業しました。父親は割烹で板前の仕事をしていましたが、その後独立し、町内初となる喫茶店「エデン」、スナック喫茶「アイリス」を経営し、代々商売に携わっていました。

活気あふれる家で伸び伸びと育ち、滝上小学から滝上中学校、滝上高校と進みましました。中学校時代は野球で全道大会に出場、高校時代はバスケットボール部を立ち上げ、選手として活躍しました。学校と部活動、充実した高校生活であったそうです。

「担任の先生からは大学進学を勧められましたが、進学が就職か迷ったのち、親友の影響もあり、就職の道を選び、光洋無線（旭川市）に就職しました。当時、家電の花形であったカラーテレビの販売営業をしていましたが、大きな事故に遭ってしまいました。

カラーテレビを買っていただけのお客さんに少しでも早く利用してほしいと考え、本来の仕事でないアンテナ取付の作業を自主的に行っていました。その最中、3階の高さから落下してしまい、椎間板ヘルニアとなり入院。そこで人生が大きく変わったと思います。家族のおかげで1年間十分に静養をできたことが本当にありがたかったです。

結婚してからは、3人の子

にも恵まれ、町内で運転の仕事や製材会社で働いてきました。

その後、平成17年1月から平成26年3月まで滝上町観光協会（事務局長）で働くことになりました。観光の仕事は「人」をつなぐ仕事。仕事の分野は変わりましたが、生まれ育ったこの滝上に多くの人

に訪れてもらい、にぎわいのある町にしたい、という気持ちで取り組んできました」

スポーツとの関わりについて教えてください。

「私は大変スポーツが好きで、高校を卒業して社会人になってからも仕事の一方でス



芝ざくら滝上公園で観光協会のスタッフとともに（左が佐々木さん）

ポーツにも取り組み、ラグビーは43歳まで、バスケットボールは50歳まで現役で続けていました。

また、競技だけではなく、皆さんに広くスポーツに親しんでいただければ、という思いもあり、滝上町体育協会（副会長12年）と滝上町バスケットボール協会（会長19年）の職をお受けしました。スポーツに長らく関わってきたおかげで、多くの仲間にも恵まれたことは何より幸せな事です」

町民の方にひと言お願いします。

「滝上で暮らしていて、この町の好きなどころは、『人の温かさ』です。そして、祖母の代から一族が皆お世話になっている滝上への思い入れは人一倍強いものがあります。皆さんの支えがあつてこれまで過ごすことができました。これからも人のつながりを大切にしていきたいと思えます」

滝上を愛するに佐々木さんこれからもますます活躍してください。